

式 辞

暖かな日差しの中、鳥が鳴き、梅が香り、
大谷川のせせらぎが光り輝くこの佳き日
に、高橋千亜紀教育委員様、吉村武司備前
市長様を始め、多数の御来賓をお迎えし、
平成二十七年度卒業証書授与式を挙行でき
ますことに、心から御礼申し上げます。

まず、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。学校行事や部活動で、常に先頭に立ち、伊里中学校のパワーの源となった生徒たちでした。明るく、穏やかで、下級生は勿論、今年度スタートした小・中一貫教育で、小学生やこども園の子供にも、優しい眼差しを向ける生徒たちでした。また、素晴らしいチームワークを発揮し、最高学年としての役割を十分に果たす生徒たちでした。凛々しく、落ち着いて入場する姿に、感慨ひとしおのことと思います。本校教育への多大なる御協力に感謝すると共に、皆様がお子様と歩んで来られた、義務教育の九年間に、心から敬意を表します。

次に、伊里地区選出の市議の方々やふれあい学級の方々を始めとする地域の皆様、

いつも本当に有難うございます。五十名の生徒たちが、今日の日を迎えられますのも、学校行事や授業への支援と共に、日頃から生徒たちを見守り、励まして下さったお陰です。改めて御礼申し上げると共に、今後とも伊里学園を、宜しくお願いいたします。

そして、卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんとの生活は、今年一年だけでしたが、小学校から転勤して来た私には、皆さんの言葉、行動の一つ一つが大人に見え、中学生になるとこんなにも成長するんだと感心していました。

杉浦教育長が驚いた入学式歓迎の言葉、
新入生を思いやり、安心させると同時に、
一緒に学校作りを進めていこうという強い
決意を感じる言葉でした。

修学旅行の長崎で、語り部深堀さんから伺ったお話は、今の平和な日本で暮らす私たちが知らない戦争の恐ろしさを生々しく伝えるお話でした。しかし、その後の皆さんの群読は、迫力も内容も素晴らしく、深堀さんの語りにも十分応えるものでした。

A組、B組が、激しい戦いを繰り広げた体育会、特にソーラン節は記憶に残るものでした。今、思い出しても鳥肌が立ちます。

しかし、私が一番嬉しかったのは先生方の指示は最小限で、競技も係の仕事も生徒が進める運営でした。みんなで作った体育会、最後に生徒会長を中心に歌った校歌は伊里中の未来を指し示す気がしています。

夏の総体では、各部が必死の戦いを見せてくれました。気迫溢れるプレー、必死で

耐える守備。県大会の応援にも行くことが
でき、試合後、相手選手にエールを送るス
ポーツマンシップに感動しました。

吹奏楽部定期演奏会は工夫ある楽しい会
でした。パフォーマンス満載で、何曲もの
演奏は大変だなと思いましたが、演奏する
皆さんが足で調子を取る姿に気づいたと
き、音楽の楽しさに触れた気がしました。

合唱コンクールも、A組、B組が激しく
競り合いました。調和のA組、迫力のB組、
どちらも楽しい工夫がありました。まさに
青春。中学校は何でも一番熱くなれる時な
んだと、改めて感じた一日でした。

ボランティア活動の充実も、強く印象に
残っています。試験週間中なのに集合して
くれた芝生ボランティア、部活が終了した

二学期からは、トイレ、草抜き、シニア体育会、こども園秋祭り、伊里文化祭と、大活躍でした。備前警察署、育成センター、ライオンズクラブ等、多数の表彰状を頂き、本当に誇らしく思っています。

三年生が頑張り、一・二年生がその背中を追う。伊里中学校はそんな理想の学校になっっていると思います。

そんな皆さんに、ミュージシャンであり「モーニング娘。」のプロデューサーでもあるつんく♂さんのお話をします。

つんく♂さんは平成二十六年、喉に癌を発症しました。治療しましたが再び発症。ついに声帯を取ることになりました。声帯を取るということは声を失うということですよ。「ジャランQ」のボーカルとして、「モ

「ーニング娘。」の熱血指導者として、数々のヒット曲を飛ばしてきたつんく♂さんにとつて、これ以上の悲しみはありません。

そんなつんく♂さんに、今年度も、母校近畿大学から入学式プロデュースの依頼がありました。声を出せないつんく♂さんがステージに立つと、メッセージが、次々にスクリーンに映し出されました。

「一番大切にしてきた声を捨て、生きる道を選びました。また振り出しです。」

「後悔しても意味がないんです。今から進んでいくんです。自分で決めて進んで行けば、絶対に何かを得、そしてまた次のチャンスへと繋がっていくんだと思います。」

「こんな私だから出来る事。こんな私にしか出来ない事。そんな事をこれから考えな

がら生きていこうと思います。」

義務教育を終え、将来に向けて一歩踏み出すみなさん、あなただから出来ることは何でしょうか。あなたしか出来ないことは何でしょうか。そして、何よりもあなたがやりたいことは何でしょうか。

中学校では十分に頑張りました。十分に成果を上げました。その成果を高校で思う存分発揮し、更に大きく成長されることを期待しています。

改めて、御卒業おめでとう。皆さんの、前途洋々たる未来を信じています。

平成二十八年三月十五日

備前市立伊里中学校長 金光一雄